



# 海外出張の思い出

IEC(国際電気標準会議)より

小野寺 勝重



はじめに

私は日立工場検査部の所属で、我が国初の軽水炉である原電・敦賀発電所

1号機(GEからの輸入炉)と初国産炉の中国電力・島根発電所1号機が緊急停止(スクラム)すると新聞、テレビなどですぐ報道された。スクラムの報道に住民の心配が大きく、将来、このスクラムを低減することが必須と思った。私の「ライフワーク」設定は、「原子力発電所のスクラムの低減」であった。この目標を達成するために信頼性手法の開発と解析などを行った。この関係で日本規格協会のもとでIEC(International Electrotechnical Commission)の信頼性・保全性に関する国際規格を策定する会議に1985年から国の代表として参加した。この会議は年々、3回開催され、40歳から70歳まで約50回参加した。

## 1 IEC規格を作る手順

IECは、国際規格により各国共通のレベルで製品作りをしようとするもので、規格作成手順は、①作成する規格を検討する、②新規作成する規格に関する資料を各国から集める、③それらの中からマザー規格を選ぶ、④原案を作成する、⑤原案を各国で検討する、⑥各国コメントを元に修正する、⑦新規格を制定する、である。新規格が制定された後、我が国ではJIS規格化委員会を作りJIS規格を制定している。

## 2 モントリオール会議(85年)に参加

信頼性解析手法の各国のコメント

を検討する会議であった。会議の中で、北のケベック地方へのバスツアーがあった。「フランス語の道案内」などフランス一色であった。

昔の制服で市内を案内頂いた。ドレスデンは、旧東ドイツ領で、第2次大戦後の復興がほとんど行われていなかった。

## ①ウイーン会議(91年)の晩餐会

晩餐会はオーストリア政府とウイーン市主催で、古城で行われた。夜8時に行くこと守衛が案内をしてくれた。総大理石の階段を上り、ベルサイユ宮殿を思い出されるような長い廊下を歩きながら両脇の衣装などの説明を聞き、10分ほど歩いた。弦楽四重奏が聞こえてきた。天井の高い室内には既に約百名が円卓を囲んでいた。洋食が運ばれ、ワインでお互い乾杯し、談笑に入る。約2時間後、弦楽4重奏がダンス音楽に変わった。お城の床は木であった。お互いダンスを楽しむ。私の顔を見て、「さくらさくら」と「荒城の月」を演奏してくれ

た。江沢民・国家主席は、「中国は、世界貿易を目標にIEC規格に適合した製品造りのためIEC規格をしつかり勉強していく」と述べられた。晩餐会は、人民大会堂で7時から開かれた。

## ②ドレスデン会議(96年)市内ツアー

ヨーロッパでは多くの町に市電が発達している。ドレスデンでは、市電の車庫、保全検査場を見学後、約百年前の市電に我々IEC委員(約20名)を乗せて、運転手、車掌が共に

は、洋食の後、アトラクションが行われ、京劇、アクト、バットショー、妖艶な踊りなどが披露された。

これらIEC活動に対し、私は「通商産業大臣平成10年度工業標準化功労者表彰」(98年)を受賞した。思いつくままに海外出張の思い出を書きましたが、日立製作所には多くの良き先輩がおられ、いろいろとご指導を頂きありがとうございます。

市電でドレスデン市内をツアー

南アフリカのダーバンでのIEC会議(95年)の時、週末の金曜日午後

テニスの機会はいろいろあった。米国・サンノゼのGE社では原子力の技術提携で、ピッツバーグのウエスチングハウス(WH)社では原子力会議終了後、屋外は零下20度以下であったが、17面もある室内コートで、会議に参加した5名とその夫人も入り、試合を楽しんだ。また、米国・ワシントンDC郊外のリゾート地でのIEC会議時には、毎朝、7時コート集合で、試合をし、その後、シャワー、朝食、10時に会議開始であった。



市電でドレスデン市内をツアー



人民大会堂でのアトラクションの様子



ロッキー山脈でスキーを満喫

リレー随筆 (84)

## 水ロケットに夢を乗せて 齋藤 敏男



日立理科クラブに入会して早6年が経とうとしています。入会にためらいはあったものの、今では子供たちから元気をもらっています。日立理科クラブでは、科学への興味・楽しさ・想像力を育む6つのプロジェクトを推進しています。詳しくは支部便り第74号掲載の畑山さんの記事を参照してください。その中で「科学ふしぎ発見教室」に所属し、水ロケット、レーシングカー、ドローン・プログラミング飛行の三つの教室を担当しています。以下、それらの内容を紹介したいと思います。

水ロケットは、ペットボトルの中に一定量の水を入れて空気を圧縮、開放するとペットボトル内の水が圧縮された空気の力で後方に押し出され、その反作用で飛ぶロケット模型です。教室で製作する水ロケットでは、本体に1.5ℓの炭酸飲料ペットボトルが使われ、先端には重りの入った円錐状のノズコーンと呼ばれる部品が、下部には飛行を安定させる翼が取り付けられます。構造は簡単ですが、一つひとつの部品とその組立には真っすぐ遠くへ飛ばすためのノウハウが詰め込まれています。水を噴出しながら勢いよく飛び出し、150m以上(空気圧次第で更に遠く)飛行する姿は圧巻で子供たちは大興奮です。教室は毎月、成果を競い合う場とし



水ロケット大会

て水ロケット大会は毎年開催しています。大会は日立理科クラブ発足当初から恒例行事となっており、子供たちの人気を集めています。

季節や天候の影響を受けない、屋内で実施可能なレーシングカー教室を5年前より開催しています。製作するレーシングカーは、日用品を部品として活用するなど手づくり感いっぱい、完成後はサーキットでタイムトライアルを楽しみます。ドライバーを使ったことの無い参加者もありますが、こうした経験を通してモノづくりの楽しさや難しさを学んでもらえればと思っています。

小学校でプログラミング教育の有用性が高まる中、昨年、4年生以上を対象としたドローン・プログラミング飛行教室を立ち上げました。プログラミングの勉強や教育テキストの編纂、楽しく学ぶための飛行経路に設置する障害物の製作等全てが試行錯誤の連続でしたが、何とか開設にこ



障害物を通るドローン

ぎつけました。教室では課題に対するプログラムを作成しドローンを飛行させますが、中学校レベルの難題も数時間の指導でクリアするなど子供たちの能力の高さに驚かされます。こうした子供たちの可能性を引き出し、プログラミングの面白さを感じてもらえるような教室づくりに今後も尽力したいと思います。

子供たちの夢を乗せて水ロケットは青空高く飛び立ち、レーシングカーはサーキットを疾走、ドローンは宙を舞います。理科大好き児童・生徒が一人でも多く育ち、将来科学者となって活躍する姿を思い描きながら、これからも頑張りたいと思っています。

## 同好会行事に参加して

### 「卓球クラブ」

古川 秀康



今年の誕生日を迎えると75歳。時の流れがこんなにも早いものかと思いつく今日この頃である。7年前、退職を機に支部便りから知り得た卓球クラブに入会をさせていただき、以来週一回の練習に可能な限り参加している。卓球は中学時代に体育館の片隅で数人の仲間とルール無視で楽しんでいただけでした。入社後に卓球の課対抗に参加を求められ、それなりに頑張ったが、年齢と共に遠ざかってしまい実に40年以上のブランクでした。こんな私でしたが入会すると諸先輩からマナーを含めて手取り足取り教えていただき、誠に効率的にレベルアップを図ることができました。県内で定期的に開催されている大会にも参加し、時には勝利の喜びを経験させていただきました。このところ多数回のコロナワクチン接種が影響(?)したのか、脇腹に帯状疱疹を発症し後遺症の神経痛に悩まされていて50%程度の練習に止めている。早期回復を期待している。蛇足ですが私は長年スカイスポーツを楽しんでおり、卓球の練習が動体視力の維持に大変貢献していると解釈しています。卓球は老若男女誰でも同じ条件で楽しめる唯一のスポーツではないかと思えます。素晴らしいプレーには仲間内だけでなく対戦相手にもエールを送れます。残りの人生を健康で楽しく過ごすための一つのツールとして卓球を是非推奨したい。

### 「勝田PC」

渡邊 綱信



勝田パソコン教室に参加して早21年が過ぎました。最初は手取り足取りの状況から最近ではパソコンを駆使できるようになり、他の同好会の名簿作りや会費計算、アルバム作成等に大いに活用しています。ただ、諸先輩の域にはなかなか到達せず、今後にご指導をお願いする次第です。本会の良いところは、単なるソフトの勉強だけでなく世の中のデジタル化の動きに沿って、いろいろな勉強をしている点です。近時のIT化の流れはすざましく、チャットGPTやBingなどのAIを使えなければ、どんどんこの世の中から取り残されるような気がしています。因みに、勝田パソコン教室の今後の進め方について、チャットGPTに聞いてみました。以下その回答です。

『勝田パソコン教室の今後の進め方は、以下の取り組みが考えられます。(詳細略) 1)オンライン教育の導入 2)AI 機械学習の学習プログラムの充実 3)教材の充実(高度の教材が必要) これらの取り組みにより勝田パソコン教室は、社員や一般の方が最新の技術やスキルを習得し、業務や趣味での活用が可能となるようより充実した教育プログラムを提供していくことが期待されます。』というもので、なかなかの内容です。

今後このようなソフトは益々進化していくことでしょうが、その都度パソコン教室の教材に取り入れていただき、学んでいきたいと思っています。

## 同好会の行事ご案内（8月～10月）

### 1. 第94回歩こう会【大洗海岸を歩く】

大洗駅を出発し、史跡、寺院そして神社を巡りながら、大洗海岸を歩きます。

- ・開催日：9月15日(金) 雨天 9月27日(水)
- ・集合：鹿島臨海鉄道大洗駅 午前10時
- ・コース：大洗駅→金剛院→須賀神社→日下ヶ塚古墳→西福寺→幕末と明治の博物館→与利幾神社→大洗磯前神社(昼食)→磯節発祥の地→神磯の鳥居→髭釜道祖神社→大洗駅  
(始めのみ少し上り下りあり 約7.8km)
- ・持参品：弁当、飲物、雨具、マスクなど
- ・会費：200円(非会員 500円)
- ・申込締切：9月8日(金)
- ・申込先：小野瀬 秀夫  
Tel/Fax : 029-282-4124  
E-mail : h1941.0830.onose@tenor.ocn.ne.jp

### 2. 第86回研修会

#### 【つくば学園都市の研究施設見学】

4年ぶりに「つくば学園都市」を訪問します。今回はこれまで見学していない建築研究所や土木研究所(未見学の研究施設)、つくば実験植物園などを見学します。皆様の参加をお待ちしています。

- ・開催日：令和5年9月28日(木)
- ・集合：大みか駅前  
(旧常陽銀行大みか支店前) 8:00  
日立南ドライブイン 8:15
- ・帰着：大みか駅前 17:00頃の予定
- ・会費：8,000円の予定(バス、昼食代、他)
- ・募集人員：25名(20名以上の参加で実施)
- ・申込締切：7月31日(月)
- ・申込先：石田和夫  
Tel/Fax : 0294-34-0209 携帯 080-5087-2555  
E-mail : ishida.kazuo@nifty.com

### 3. 定例行事予定一覧（開催日・場所・時間などは各グループより、別途茨ネット等により連絡いたします）

グループ名	連絡先	実施予定日(曜日)			場 所	時 間	備 考
		8月	9月	10月			
野鳥・自然観察グループ	石川 皓 0294-53-7064 aishikajp@ybb.me.jp	(休)			—	—	参加費：¥300/回 原則雨天中止
			18(月)		栗原	9:00～12:00	
				23(月)	久慈川(JR橋)	9:00～12:00	
囲碁の会	真鳥岩男 0294-74-5285 sp8k8z59@lake.ocn.ne.jp	21(月) 25(金) 28(月)	11(月) 大会 22(金) 25(月)	9(月) 23(月) 27(金)	大みか拠点	9:30～16:00	参加費：¥100/回 大会：¥1000 (昼食費含む)
	七海 清 029-273-8450 fwny8718@nifty.com	17(木)	21(木)	19(木) 大会	大島コミュニティセンター	9:00～	参加費：¥200/回 大会：¥700
料理教室	並木慎一郎 029-283-1476 s-namiki@themis.ocn.ne.jp	28(月)	25(月)	30(月)	らぼーるひたち	9:45～	参加費：¥1500/回
卓球クラブ	村上勝雄 0294-24-2430 mkattyan@net1.jway.ne.jp	2, 9, 23(水)	6, 13 20(水)	4, 11, 18(水)	会瀬体育館	9:00～12:00	参加費、会場費等 まとめ：¥4500/年
デジカメクラブ	溝口忠憲 029-219-6576 mizogut@beach.ocn.ne.jp	7(月)	4(月)	2(月)	大みか拠点	10:00～15:00	参加費：¥1000/回 昼食費含む
写真五七五	細江 徹 0294-42-9126 tohru92@road.ocn.ne.jp	4(金)	1(金)	6(金)	大みか拠点	9:30～13:00	参加費：¥300/回 昼食別途
勝田パソコン	佐々木六漏 029-275-2567 sasak6318@nifty.com	22(火)	26(火)	24(火)	ひたちなか市ワークプラザ	13:15～16:00	参加費：¥500/回

注)・旅行会(連絡先：溝口忠憲)は開催が不定期なので、茨ネットを通じて開催をご案内しています。

**訃報** 次の方がお亡くなりになりました。

湯沢 宏	令和4年10月5日	満93歳
林 正廣	令和4年12月	満87歳
岩橋 勲	令和4年12月19日	満91歳
山口 栄三	令和4年12月29日	満91歳
江幡 健夫	令和5年1月9日	満92歳
福岡 卓二	令和5年2月22日	満90歳
栗本 茂	令和5年3月9日	満89歳
内田 茂	令和5年3月15日	満82歳
小林 康浩	令和5年4月7日	満88歳
横山 廣	令和5年4月8日	満76歳
下坂 卓夫	令和5年4月16日	満83歳

小原 哲夫	令和5年4月25日	満91歳
吉田 洋一	令和5年6月20日	満65歳

**編集後記** 小野寺さんの海外出張の思い出、IEC 会議のメンバーとしてそれなりのおもてなしを各国で受けられ、貴重な思い出に残る体験をされましたね。改めて現役時代、世界の日立で活躍できたことに感謝ですね。斎藤さんの日立理科クラブでの活動の話、水ロケット、レーシングカー、ドローン・プログラミング飛行、どれも子供たちを夢中にさせるテーマですね。今後も理科の大好きな子供たちを育てていくよう頑張ってください。

谷口 正俊